



# はなてんびん



## かんごについて思うとき

看護部長 森谷 純子

生後間もない頃の1枚の写真を見ながら・・・まだ首も据わってないような赤ん坊を抱く母とその側に祖父、後ろにはリヤカーに乗った祖母と2歳の兄・・・町民運動会の写真だと聞きました。リヤカーに乗せられた祖母は母が嫁いだ時にはすでに脳卒中で倒れ介護が必要だったそうです。25年間床ずれも作ることなく介護し、祖母が逝った3年後祖父は小学生の私に「おじょうちゃん、お世話になりました。お母さんの言うこと聞いてお利口にね」と頭を撫でて出てゆきました。その後交番からの電話で祖父が保護され帰ってきました。今で言う認知症でした。その後祖父が吐血をし亡くなる寸前に、タバコを1本だけ吸わせてほしいと父に手を合わせてすすがる姿と泣きながら止める父

の姿を今でもハッキリ憶えています。看護が様々なかたちを経て近代医療に変わっても看護の原点は変わらないものだと確信します。時代が変われば家族の形態も変わります。それは仕方のないことですが、国の施策に合わせ今また地域や家庭に介護をもどしつつあります。体制の整備がされないままに、生活保障のないままに急発進する政策の被害が弱い方々や真っ直ぐ生きている方々への負担となり、悲しい結末として取り上げられるニュースに胸が締め付けられるおもいです。沢山の地域の方々に支えられ当院も、今年創立18年目を向かえることが出来ました。私達は、看護部の理念を念頭に、これからも皆様と共に寄り添い頑張りたいと思っています。

### 看護部の理念

「生命の安全と患者の権利を尊重し、思いやりと優しさのある看護・介護を提供します」

### 看護部の方針

「安全で確かな技術を提供します」

「その人らしく生活できるよう看護・介護を提供します」

## 誌上医療講座

# パーキンソン病だけじゃない 「ふるえ」

内科 佐々木禎治



「ふるえ」が認められる人が、加齢とともに増えてきます。一般の方は、どういう訳か「パーキンソン病」という難しい病名を口にされま  
す。この病気は、日本では人口 10 万人あたり 100~150 人おられると言われていて、五個荘地区の人口が 1 万 2000 人 (2004 年 1 月) ですので、10~15 人程度の方が病院のそばにいらっしゃる計算になります。私の外来に通われている方が何人かいらっしゃいますので、まだ、診断がつかず悩まれている方がいらっしゃるかもしれません。もし、そういう方が皆様の周りにいらっしゃれば、是非受診するよう勧めてあげてください。パーキンソン病は、厚生労働省から特定疾患 (難病) に指定されている病気ですが、比較的研究も進んでいて、治療薬・治療法も多くあります。残念なことに病気の進行を止めることには成功していないので、少しずつ悪くなっていきます。だから、専門の医師が症状に応じて薬を細かく調節していくことが必要

になってきます。すでに「パーキンソン病」と診断されていて、長い間飲んでいる薬の飲み方・内容が同じで動けなくなってきたような方でも、薬を調節することで元気になられることもあります。決して諦めないでください。

一方、パーキンソン病ではない「ふるえ」は、いろいろな病気や原因で起こることが知られています。胃腸薬や喘息の薬・安定剤など睡眠薬などの薬、脳梗塞や脳出血などの脳神経の病気、甲状腺の病気が原因となっていることがあります。腎臓や肝臓が悪くなってふるえることもあります。軽い緊張が原因となって、ひどくふるえてしまい、字がうまく書けなくなったり、食事の時に箸をうまく使えなくなる方もいます。治すことのできないことも少なくはありませんが、最も大事なことは正しい診断をすることです。一人で悩んだり諦めたりしないで、外来に訪ねてきてください。

## 部署紹介 医事課

私たちは患者さま、ご家族の方が来院された時に最初に接する事の多い部署であると考えております。業務としては、診療報酬請求やカルテ等の事務処理などがありますが、患者さまとの接点は受付窓口が多いかと思えます。



当院は比較的高齢者の方のご利用が多いのですが、そういった方々が通院や利用がし易いようにと日々心がけております。もし、当院のご利用に際しましてお困りの点、不明な点などがございましたら、受付にてお声掛け下さい。必要に応じて、院内の各部署に連絡を取るなどして対応させていただきます。

皆様が気持ちよく、安心して通院・療養していただけるよう、事務部門としてお役に立てればと思っております。今後ともよろしく申し上げます。

## 薬の飲み方

## 薬剤科

<薬はコップ半分～1杯程度の水（白湯）で>

- \* 飲む水の量が少なすぎるとカプセルなどが食道にとどまり、粘膜を傷つけてしまう可能性があります。水分制限などが特になければ、コップ半分～1杯程度を目安にしてください。
- \* 寝た姿勢のまま薬を飲むのもできるだけ避けましょう。
- \* 薬の中には牛乳やジュース、お酒などと一緒に飲むと効果が強くなりすぎるものや、逆に効果が弱くなってしまうものがありますので、なるべく水または白湯で飲むようにしましょう。

<薬の保管方法>

- \* 直射日光、湿気を避けて涼しい場所に保管して下さい。
- \* 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- \* 服用期限が過ぎたお薬は飲まないで下さい。
- \* 水薬は原則として冷蔵庫に保管して下さい。

<薬を飲む時の注意>

- \* 薬はプラスチックのシートから取り出して服用してください。そのまま服用すると シートの角が食道粘膜を傷つけてしまう恐れがあり危険です。
- \* 薬は医師の指示通りに服用し、自分の判断で服用するのをやめないようにして下さい。



## 新任医師

### 紹介



内科

松本 義則

昭和 34 年 10 月 2 日 大阪市東淀川区にて出生

昭和 60 年 名古屋大学医学部を卒業

胸部外科・循環器内科を経験し

平成 20 年 8 月より神崎中央病院勤務となる

抱負 今までの経験を生かし、幅広くなお且つキメの細かい診療を目指します。皆様のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

趣味 家庭菜園（今年はキュウリは不作でしたが、ナスは豊作でした）

写真（お気に入りバラの花です）

## 公開医学講座開催



8 月 23 日（土）本院会議室において、管理栄養士における「栄養管理で脱メタボ」と題した公開医療講座が開催されました。

前半はパワーポイントを使った研修・後半はメタボ専業主婦に扮した職員の寸劇と、〇×クイズで盛り上がりました。



診療科目：内科・外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・

耳鼻咽喉科・リハビリテーション科

人工透析センター

診療時間：午前診察 9：00～11：30

午後診察 13：30～16：00

診察日：月～金 午前診察・午後診察

土 午前診察

※ 日曜日・祝日は休診



〒529-1445

東近江市五個荘清水鼻町 95 番地

TEL 0748-48-5555

FAX 0748-48-5556

E-mail [kanzakihp@po.bcap.co.jp](mailto:kanzakihp@po.bcap.co.jp)

URL <http://www.bcap.co.jp/kanzakihp/>

<地域連携室>

TEL 0748-48-5558

FAX 0748-48-5722